
ジャパン・ブルース・プロローグ

ハム

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ジャパン・ブルース・プロローグ

【Nコード】

N5822A

【作者名】

ハム

【あらすじ】

一応、青の6号のファンフィクションのつもりです。グランパスと生体兵器の一戦をお送りします。

（前書き）

はじめまして。初投稿させて頂きます、ハムと申します。今回は、執筆中の長編のプロローグとして、また状況描写の練習として投稿しました。そのため、作中会話文は一切ありません。その点をふまえてご笑読下さい。

蒼い水の中を一つの影が滑るように進んで行く。魚では無い。色こそ海水に溶け込むライトグレーだが、無機質な装甲に覆われ、ウォータージェット推進で水中をゆく魚など存在しない。潜水艦だ。

しかし、そのシルエットは一般的な潜水艦のそれとは異なっていた。薄く、マンタなどの遊泳性のエイによく似た、左右に突き出た鰭状構造。尾部はエイが持つ針の様な尾鰭ではなく、舌の様に幅広に伸びている。全長は10m程。潜水艦と言うよりも、潜水艇のサイズだ。舌状の尾部にはウォータージェットの排出口らしい無数の小孔が穿たれていたが、航行中にもかかわらず、摩擦音の一つ、小泡の一つも見られ無い。見事なステルス性を発揮していた。

ダウン。

尾部上側にある一对のブラスターが鈍い衝撃音を発し、直進していた潜水艇が突如、左ロール。それまでの潜水艇の進路上を、水底から現れた3m前後の影の一群が通過する。潜水艇は左ロールを行いながら、小爆雷を放出していった。反転し、舳先を後方へと向け、それまでの勢いで後進しながら物騒な置き土産へと二ードルガンを乱射する。射撃を受けた爆雷は次々に四散した。

影の一群は散解し、爆発衝撃波の及ぶ範囲のギリギリ外側を通過していく。爆発光に照らされた影は、その大きさを除けばイワシやサンマといった回遊魚によく似ていた。頭部と腹部に一对、体と異質な機械的な突起を持つのが特徴か。

衝撃波の範囲を迂回して回遊魚達が潜水艇の方へと向かおうとした時。爆雷の爆発を包むようにUWM(Under Water Missile)が爆発した。水中を漂う爆雷と違い、UWMはプログラミング次第で進路、爆発位置を自由に指定出来る。それにしても、見事なタイミングだった。回遊魚の動きにキッチリと合わせ

れた発射、爆発のプロセス。おそらく、爆雷とニードルガンで攪乱された回遊魚達の中に、UWMが発射された事に気付いた個体は居なかっただろう。潜水艇の操縦士と火器管制士の呼吸の良さを伺わせた。

多くの回遊魚達がUWMの爆発に巻き込まれて”爆発”する。

二度の爆発で、群は散り散りだ。それまで回遊魚から離れ続けていた潜水艇は一転、推進機を全開にして肉迫。各個に至近距離からニードルガンを撃ち込む。回遊魚達は最後の一匹まで向かって行くが、バラバラのタイミングで近付かれる分には脅威ではないらしい。接近したもののから順にニードルガンを浴びて爆散してゆく。

潜水艇が攻勢に出てから、ほとんど数瞬のうちに戦いは決着した。後に残っているのは、回遊魚達の残骸である肉に脂。そして、突起部分を構成していたと思しき機械。

もとの進路に船首を向けた潜水艇は、再び推進機を吹かし、ゆっくりと格闘戦で失ったスピードを回復させ、血で薄く濁った水域を後にした。

30分程走っただろうか。

やがて、潜水艇の進路上に大きな船影が現れた。独特の姿をしている潜水艇に対して、前方の船影はいかにも潜水艇といった形をしている。

一昔前の新幹線のような船首、真っ直ぐに上方へと伸びるセール、船首の両側から水平に突き出た昇降舵。どれをとっても”いかにも”な潜水艦だ。あえて違いを挙げるとすれば、昇降舵が大ぶりで船尾側にも付いている点、船底が不自然にやや膨らんでいる点、船尾側の昇降舵付近にいくつかの縦向きのスリットが入っている点といった所か。潜水艇はゆっくりと潜水艦に近付いていく。それに答えるように、潜水艦の船底の膨らんだ部分が観音開きで左右に開いた。

潜水艇は迷わず、スムーズに潜水艦の開口部へと滑り込んだ。

潜水艇を収容した潜水艦は、
一対のプロパルサーを回転させ、蒼の
より深みへと消えていった。

（後書き）

稚拙な文を最後まで読んで下さった方、ありがとうございます。よろしければご意見、ご感想をよろしく願います。忌憚の無い意見をお聞かせ下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5822a/>

ジャパン・ブルース・プロローグ

2010年11月16日02時52分発行